



インドネシア 「グリーン・ウォール」の普及と拡大

現地からのお便り

2017年8月
コンサベーション・インターナショナル

モニタリングと森林再生の経過報告

レンジャーや地元コミュニティの人たちと協力して、毎月のモニタリングを行っています。木々の状態は、天候、害虫、そして人間の活動に影響を受けますが、大きく成長した木の方が幼木よりも様々な要因に耐えることができます。2017年3月に9,000本を植え替えましたが、その後のモニタリングにより、すべての木が順調に成長していることがわかっています。



木のモニタリング



グリーン・ウォールの木々の様子

メディアキャンペーンとコミュニケーションの強化

5月19日から21日まで、三日間にわたって開催されたボゴール植物園開園200周年記念イベントに参加する機会があり、そこでグリーン・ウォールのダイキンプロジェクトを紹介しました。毎日80人以上が私たちのブースに来てくれました。バナーだけではなく、グリーン・ウォールを動画で紹介したり、一緒にディスカッションやゲームをしたりしました。



ボゴール植物園開園200周年記念イベントでのプロジェクト紹介

グリーン・ウォールがジャワヒョウの生息地に！

グリーン・ウォール地域はよい状態を保っています。プロジェクトで植えた木々は新しい森林を形作り、野生生物の新しい生息地となっています。数台のカメラトラップを設置して生息している生物を調べたところ、なんとジャワヒョウが撮影されていました！この発見により、森林再生のための私たちの努力が、人間だけでなく、公園内に住む野生動物のためにもなっていることが証明されました。



カメラトラップを設置



カメラにうつったジャワヒョウ

看板

プロジェクトサイトには5枚の看板が設置されており、毎月すべての看板をモニタリングしています。現在はすべての看板が問題なく、よい状態です。



看板一号(2017年4月～6月)



看板二号(2017年4月～6月)



看板三号(2017年4月～6月)



看板四号(2017年4月～6月)



看板五号(2017年4月～6月)

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。